

## 「人材」に関する令和7年度実績とワーキンググループ提案（案）

## 1 令和7年度の実績

## (1) 呉市中小企業・小規模企業振興基本条例実践シンポジウムについて

- ・10月10日、広まちづくりセンターにおいて、くれ地域DX推進ネットワークによるDXフェアと同時開催、60社100名を超える参加者
- ・DXフェアとあわせて、実施したアンケート結果（参加者のうち、36名から回答）半数以上（19名）から高い評価（すごく満足）

## (2) プロボノ人材の市内企業での活用について

- ・呉市でのプロボノ人材（仕事で培った専門的スキル・経験等をボランティアの副業人材として提供）の活用を促進 ⇒ 活用企業：13社（R8.2末現在）
- ・活用ニーズ：DX・業務効率化（5件）、人事・新規事業・広報PR・年間計画作成などニーズは多様

## (3) くれDX推進ネットワークの活動状況について

- ・活動目標：啓発セミナー開催、相談につなげる実際の支援、企業支援の実施
- ・DXフェア開催（10月）、DXセミナー（11月：呉広域商工会）、勉強会（11月：呉商工会議所主催）、DXに関するアンケート調査（12～1月：呉信用金庫）実施

## (4) 県外から呉市へ就職する学生への支援

- 国の「地方就職学生支援制度」活用の就職者支援制度：令和7年度利用者無し  
※呉市独自の制度実施のため、令和8年度予算要求  
⇒ 提案した手法による施策では成果が見込めない（財政当局非承認）

## 2 ワーキンググループからの提案

## (1) 人材に関する施策への提案

## ア 人材育成支援

資料1-1のとおり

## イ 理念経営支援

資料1-2のとおり

## (2) 令和8年度の重点取組テーマについて

- ・「経営革新」を重点テーマとし、その中に地域資源の活用も含める。
- ・企業規模に応じたターゲット設定と具体的な支援策の検討が必要。

## 【ワーキンググループでの主な意見】

- ・1億円の会社を5億円にする方が経済的インパクトは大きく、事業転換を含む経営革新が重要
- ・特定分野への依存度が高い呉市の企業にとって、新しいことにチャレンジする企業への支援が必要であり、地域資源の活用等による産業の活性化が重要

# 人材育成支援に関する提案

下記ターゲット・育成内容による  
組織力向上が求められる

【ターゲット】

- ・現場リーダー
- ・次世代リーダー候補

【育成内容】

- ・チームビルディング
- ・マネジメント力
- ・コミュニケーション能力

中小企業・小規模企業振興会議

提案

くれ産業振興センター

R 7

人材育成塾



R 8

ブラッシュアップした人材育成塾

※資料4-1別紙

## 【人材育成伴走支援事業】

---

### 1. 目的

本事業は、令和6・7年度に呉市中小企業・小規模企業振興会議で議論された人材育成の中で意見が多かったチームビルディング・リーダー育成に対し、中小企業が直面する「人材の壁」を克服するため、現場を担う「右腕の右腕」やチームリーダーとなる中核人材を育成する。

単発のセミナーで終わるのではなく、1年間を通じた伴走型支援を実施することで、組織内に「経験学習サイクル」を根付かせ、チームづくり・キャリア育成・リーダー育成を企業文化として定着させる。

---

### 2. 対象者および周知方法

- 対象：広島中央地域連携中枢都市圏内に事業所を有する中小企業等
  - 周知方法：
    - ホームページ・Facebook等に募集要項を掲載
    - 登録企業（約400社）への電子メールおよびファックスを送信
    - 連携支援機関等の情報誌等への掲載
    - 呉市中小企業・小規模企業振興会議の関係者への案内等
- 

### 3. 支援メニュー

- 合同育成型（ラーニング・コミュニティ）
    - 対象：1社2～3名参加，計5社程度（10～15名程度）
    - 内容：年間を通じた集合研修+相互交流で学び合うスタイル
    - 講義回数：年4～5回（1か月に1回程度）各回3時間程度
    - 実施例：
      1. キックオフ研修「中核人材に必要な視点と役割」（マインドセット）
      2. 実践テーマ研修「経験学習サイクルを回す仕組み」
      3. ケース共有研修「挑戦文化と応援の循環づくり」
      4. キャリア形成研修「社員のキャリア軸を可視化する」
      5. 参集発表「各社の取組成果共有・今後の展望」
      6. 企業内での実践に伴走支援の実施
- 

### 4. 事業全体の進行イメージ

- 令和7年度人材育成セミナー（令和7年11月20日開催／別紙チラシ参照）
    - 問題意識と学びを提供し、伴走支援への導入を図る（キックオフ）
    - セミナー参加企業への事後アプローチの実施
  - 令和8年度伴走支援事業開始
    - 上半期で集合研修を修了し、希望する企業等に個別派遣を行い伴走（年間を通じて専門家の派遣指導を実施）
    - 各社の成果を発表・共有し、次年度の支援へつなげる
-

- 人材育成セミナー -

「育てる力」が

会社を変える

2025

11/20 木

15:00-17:00

会場 ビュー・ポートくれ  
3F 大ホール

参加費 無料

定員 先着80名

資料1-1 別紙2



講師：  
株式会社イミカ  
代表取締役

原田 博一 氏

### セミナー内容

- ・ 人材育成の本質とは
- ・ 企業におけるチームづくりのポイント
- ・ 現場リーダーを育てる仕組みと考え方
- ・ 社員のキャリア形成

近年、DXの推進や新商品開発、業務改善といったプロジェクトを推進しようとする中で、多くの中小企業が「人材の壁」に直面しています。経営者のビジョンを現場に浸透させ、チームを主体的に動かしていける**リーダーが不足**している――

それが、プロジェクトの成果が思うように出ない大きな要因といえます。

本セミナーでは、そうした“中核人材”の育成をテーマに据え、「なぜ育成が必要なのか」「どう育てるべきか」「何から始めるべきか」といった観点から、専門家による講演を行います。

主催：(公財) くれ産業振興センター

TEL:0823-76-3766

MAIL:kuessc@kure-city.jp 担当：森澤

お申し込みは  
こちら



# 両利き経営を実装する、挑戦とイネーブルメントの組織改革

人材不足の時代だからこそ、企業の成長には“組織とチームの力”が重要です。  
新規事業や業務改革を担う人材の育成に加え、チームで成果を生み出す力を高めることを目的に、専門家による集合研修と個社別伴走支援を組み合わせた実践型プログラムを始動します。



伴走支援専門家

原田 博一／はらだ ひろかず

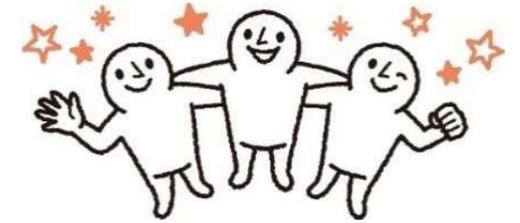
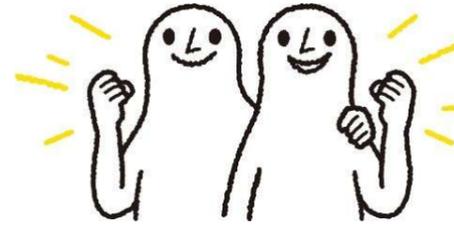
株式会社イミカ

1999年～富士通、2007年～富士通研究所、2017年～現職。

ソフトウェア開発者を経て、システム開発の対象となる企業や組織の文化を捉えて活かす定性調査手法の実践研究と教育に従事。転じて、人や組織の主體的な変化の伴走支援（プロセスコンサルティング）を行う。

企業における価値創造人材の育成、中山間地域における住民主体の共助活動の伴走支援、地域づくりに関する研修やイベントの設計や講師、NPOの経営支援など、幅広い現場に出向く。

内閣府 地域活性化伝道師／総務省 地域力創造アドバイザー／認定 NPO 法人ハーモニカレッジ理事／認定 NPO 法人あしたのカーシェア理事／一般社団法人越境リーダーシップ理事



5月

個社の現況を捉えて（インタビュー、現場観察等）、適切な伴走支援の在り方を一緒に考えます。

集合研修を踏まえて、受講生各自が社内で実践します。適宜、個別伴走支援を行います。（オンライン／現地訪問）

集合研修②での気づきや学びを踏まえて、個社で取り組みを継続します。適宜、個別伴走支援を行います。（オンライン／現地訪問）

個社ごとに次年度以降の取り組みや適切な伴走支援の在り方を一緒に考えます。



6月

## 価値創造リーダーシップ

これからのリーダーシップスキル（イネーブルメント、ストーリーテリング等）について学び、自社での取り組み内容をデザインします。各社3人～5人。

10月

## 小タイトル

伴走支援前期の結果を受講生が持ち寄って共有し、相互に学び合い、応援し合う、中間的な卸しと対話を行います。適宜、追加の知識やスキルを提供します。

2月

## 発表

伴走支援後期の結果を受講生が持ち寄って共有し、相互に学び合い、応援し合う、年度たな卸しと対話を行います。実践から得た気づきや学び、それらを踏まえた次年度以降の取り組みや必要な支援について発表し、社内外での認知度と影響力を高めます。

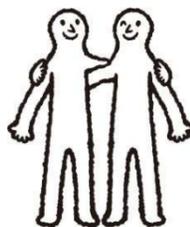


実践型組織力向上

# ヤクシン塾

# 準備中

募集対象  
募集期間  
など必要でしたらこのへんに



主催・お申込 (公財)くれ産業振興センター

TEL **0823-76-3766**

MAIL [kuessc@kure-city.jp](mailto:kuessc@kure-city.jp)

Google formsにてお申込み

QR

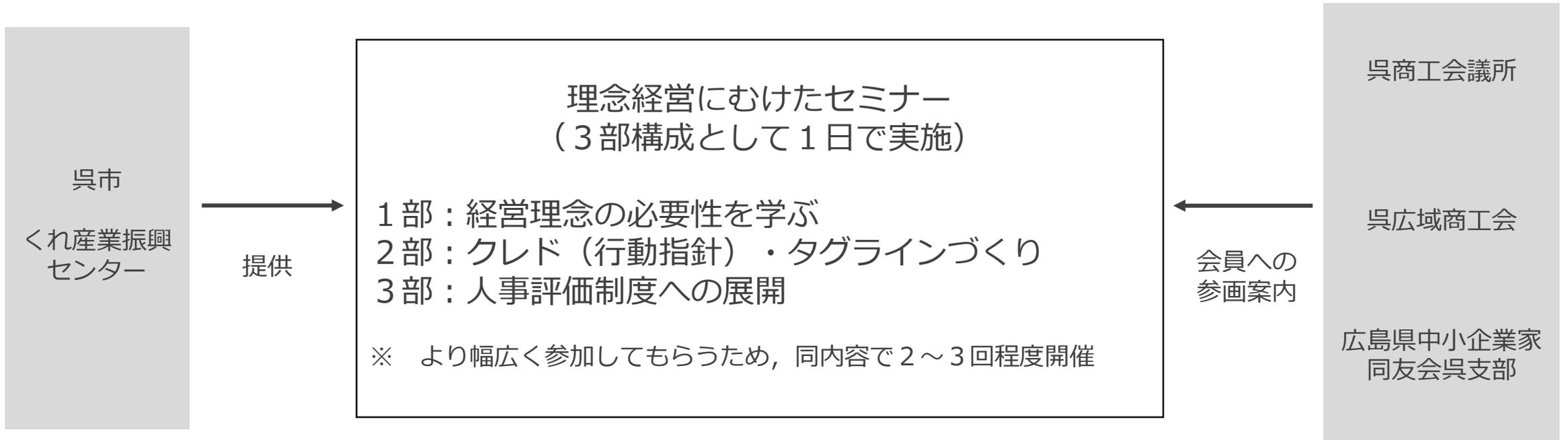
7370004 広島県呉市阿賀南2丁目10番1号  
(広島県立総合技術研究所西部工業技術センター内)

 **くれ  
産業振興センター**  
KURE SANGYOSHINKO CENTER

ビジネス総合支援サービス  
  
公益財団法人 くれ産業振興センター

# 理念経営支援に関する提案

## 理念経営を出発点とした意識啓発



## 商工振興課（経常経費：中小企業等振興事業）実施事業に係る補足説明

## 1 講師謝金 3 名分実施内訳

理念経営※<sup>1</sup>実践に向けた意識啓発のためのセミナー開催

## (1) 理念経営の必要性（オンライン，リアル開催の2回を想定）

講師候補 広島県中小企業家同友会 代表理事 立石 克昭 氏  
（株）タテイシ広美社 会長）

## (2) 人事評価制度への展開（人事評価制度策定におけるAIの活用）

講師候補 （株）TENHO 代表取締役 田村 允 氏

※1 理念経営とは、経営理念や価値観を企業活動の軸とし、方針や業務に反映させる経営手法。中小企業・小規模企業は規模が小さいため、経営理念による方向性の明確化や社員の意思統一が成長や競争力強化に直結するため、理念経営の実践が特に重要となる。人材確保の面でも、企業が社内で明確な経営理念やミッションを共有することで求職者や社員の共感を呼び、組織への帰属意識や定着率が向上し、これにより採用・育成の戦略と連動し、生産性の高い人材確保が可能となり、企業の持続的成長を支えることに繋がる。